

ベトナム最新情報

2019年5月22日（水）

— 通巻4598号 —

目次

○ 政治・経済

- = サイゴンハイテクパークの許認可が停滞、土地賃貸料の未公告により
- = 南北高速道、年内に11パッケージを着工
- = 中部地方へのFDI投資誘致が急増
- = 16億ドルの資金がベトナム民間投資市場に
- = Kien Giang省、117プロジェクトで投資を呼びかけ

○ 日本・日系企業関連情報

- = ベトナム産のナマズ、日本向け輸出が急増

○ 社会・文化・トレンド

- = ホーチミン市のレロイ通りとウォーキングエリアを結ぶ計画

○ 一口ニュース（1件）

- 為替・証券市場動向
- 入札情報

○ コラム

- = 葬儀をライブ配信、道徳を知らない YouTuber たち

******* 政治・経済 *********サイゴンハイテクパークの許認可が停滞、土地賃貸料の未公告により**

ホーチミン市ハイテクパーク（サイゴンハイテクパーク：SHTP）に進出したい企業は多いが、所管機関が土地賃貸料を承認していないことで許可が滞っている。

■今年の認可まだ2件

2019年年初4か月にSHTP管理委員会が許可したのは、ベトナム Key Tech Engineering社の登録投資総額460億ドン（約2億3,000万円）のプロジェクトと、米国 PEC Vietnamの同500万ドルのみだった。

この結果に首をかしげる人は少なくない。近年SHTPはホーチミン市製造業の投資誘致の花形であり、年平均5億ドル程度を誘致し、10億ドル級のプロジェクトも多いからだ。

今年に入りSHTPを視察した投資家は14（うち外国投資家5）。やはり今年の許認可実績は異常に見えるが、原因はホーチミン市がSHTPの新しい土地賃貸料を承認していないことである。

土地法では、年間の土地賃貸料単価は5年間固定される。SHTPを含むホーチミン市内の土地賃貸料は2018年4月に失効し、新しい価格表がまだ公告されていない。

現在、SHTPでは累計154件のプロジェクトの投資登録証明書が有効で、うち国内資本が100件、登録投資総額39兆7,680億ドン（約1,988億円）、外国直接投資が54件、52億ドル超となっている。

■仮適用を申請

この問題についてSHTPの幹部は、新しい価格表が出ていないことが、2017年以降に投資登録証明書の発給を受けた投資家にも影響を与えているという。

管理委員会が、土地の貸出決定や引渡しを凍結せざるを得ないためにプロジェクトを展開できず、投資家が投資登録証明書で計画した進捗が遅れている。パークのハイテク投資の誘致や投資促進計画の達成にも影響が出ている。

SHTP管理委員会はすでに何度もこの問題について陳情しているが、解決されていない。この5月初めに管理委員会は市に対し、賃貸料の仮適用と用地補償金の仮算出について書簡を出した。

このなかでSHTPは、新価格表を待つ間に投資家が納税するために、SHTPの土地賃貸料の仮算出を行うことが不可欠と指摘している。管理委員会は投資家に対しては、市が2020～2025年のハイテクパーク内の新価格表を公告した際に差額が生じれば、それを支払うよう約束させている。

■SHTP は投資環境を整備

SHTP 管理委員会の Le Bich Loan 委員長代行によると、投資誘致の強化や事業活動円滑化対策を行っており、3ha あまりの用地で工員寮や社会住宅の建設投資を進めている。「SHTP で働く 1 万人の住居の需要に対応できるようにしています。投資手続やインフラ整備を手早く進め、プロジェクトに参加する企業を呼び込みたいと考えています」と Loan 氏は話す。

このほか“第 2 ハイテクパーク”ホーチミン市科学技術パークも 197ha に開発予定で、着工 2020 年、IoT やロボット応用、3D 印刷、ブロックチェーン技術などの分野を中心に投資を呼び掛けていく予定としている。

(Dau Tu 5 月 15 日,P.8)

南北高速道、年内に 11 パッケージを着工

南北高速道路の建設進度を上げるため、Nguyen Van The 交通運輸大臣は、各プロジェクト管理委員会および関係組織に対し、公的投資資本を使用したパッケージは 2019 年に全て着工するよう求めた。

まずは 7 月の Cam Lo-La Son 高速道着工を目指し、残る 10 パッケージも年内着工を目指す。工事品質を確保しつつ、設計から施工までスピードを上げるとしている。

官民パートナーシップ方式 (PPP) で投資する 8 プロジェクトについてはこれまでに、各管理委員会が、一次選定の入札書類を発行している。

(Doanh Nhan Sai Gon 5 月 15 日,P.7)

中部地方への FDI 投資誘致が急増

中部地方各省への外国直接投資 (FDI) 誘致は、増加傾向にある。

ダナン市では 2019 年第 1 四半期に、これまでに最も多くの FDI を誘致し、投資額は 2018 年 1 年間の 3.3 倍相当となる、5 億 703 万 3,000 ドルに達した。

このうち新規登録プロジェクトは 32 件、追加投資 5 件、外国投資家による出資・株式取得は 51 件となった。

■大型プロジェクトの誘致に成功

年初数か月間にダナン市で許可された大型プロジェクトとしては、UAC グループ (アメリカ) が 1 億 7,000 万ドルを投資する、ダナンハイテクパークの「Sunshine 宇宙航空部品生産工場プロジェクト」や、三日月グループ (日本) が 1 億ドル投資する、Xuan Thieu 観光区の「Mikazuki Spa & Hotel Resort」などがある。

また、行政改革を行っている Nghe An 省も、年初から多くの投資誘致に成功している。

Nghe An 省は「2019 年投資促進会議」で、Mitsubishi Corporation Vietnam 社が、ベ

トナム産業貿易銀行（Vietinbank）と包括的戦略協力を締結し、投資総額が 7 兆 7,030 億ドン（約 385 億 1,500 万円）になる 13 プロジェクトに対し、投資方針/投資登録証明書を承認する決定を行い、投資総額が合計で 14 兆 2,740 億ドン（約 717 億 7,000 万円）となる 18 プロジェクトで投資協力覚書を締結した。

他の FDI 投資としては、投資総額が 2 億ドルの Royal Pagoda Privete Limited 社（シンガポール）による Nghe An 省 VSIP 工業団地での「VINHTEX 投資プロジェクト」などがある。

(Dau Tu 5 月 17 日,P.4)

16 億ドルの資金がベトナム民間投資市場に

Grant Thornton 社が 5 月 20 日に公表した「ベトナム民間投資展望報告 2019」によると、2018 年のベトナム民間投資市場での投資案件数が急増し 38 件となり、過去最高となった。

ベトナム市場での取引総額は、前年比 285%増の 16 億ドルに達すると推定され、ASEAN 地域全体の平均成長率よりも高い結果となった。

38 件の民間投資案件のうち、27 件はスタートアップ企業に投資され、2018 年は 71%（2017 年比 56%増）を占めた。このことでベトナムは、シンガポール・インドネシア・マレーシアと共に、東南アジアで最も活発な民間投資 4 市場のうちの 1 つとなった。

報告書ではまた、今後 12 か月間に民間投資家にとって魅力のあるベトナムの 6 分野は、▽金融技術（フィンテック）、▽教育、▽再生エネルギー、▽医療・医薬品、▽電子商取引、▽運輸・配送だった。

(Tuoi Tre 5 月 21 日,P.7)

Kien Giang 省、117 プロジェクトで投資を呼びかけ

Kien Giang 省は、2019 年 7 月に「Kien Giang 省投資促進会議 2019」を開催し、省の潜在力・強み・仕組み・投資優遇政策・主要プロジェクトのリストを、各組織、企業、投資家に紹介する。

同省はこの会議で、国内外の投資家に、異なる多くの分野で地方自治体が投資を呼びかけている 117 件のプロジェクトリストを紹介する。

分野ごとの具体的なプロジェクト数は、▽観光分野：16 件、▽商業：11 件、▽環境：8 件、▽農業（ハイテク技術導入）：11 件、▽農村と都市の水：6 件、▽工業：5 件、▽工業団地・工業地域、バス停留所のインフラ投資：6 件、▽住宅・都市開発：23 件、▽交通運輸：16 件などとなっている。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 5 月 21 日,P.2)

******* 日本・日系企業関連情報 *******

ベトナム産のナマズ、日本向け輸出が急増

ベトナムの日本向けナマズの輸出量は拡大し、2018年の輸出総額は前年比37.6%増となった。そして、2019年初4か月間のベトナムの対日本水産物輸出は飛躍的に伸び、ベトナムからのナマズ輸入国でトップ10に入っている。

■ナマズの輸入で日本は8位

ベトナム水産輸出加工協会（Vasep）によると、2019年4月のナマズ輸出額は1億3,654万ドルに上る見込みで、前年4月に比べ15.3%低いものの年初4か月間の輸出額は前年同期比4.2%増の6億900万ドルに達する見込みだ。

ベトナム産ナマズ輸入国としては、依然として中国が1位で、ベトナムの対中国ナマズ輸出額は前年同期比3.9%減の1億3,690万ドル、2位のEUは前年同期比39.7%増の9,500万ドル、3位のアメリカは前年同期比13.8%減の8,715万ドルとなっている。

これまで日本はベトナム産ナマズ輸入国としてトップ10の圏外だったが、日本へのナマズ輸出額が前年同期比61.5%増の1,154万ドルと急増し8位となった。ベトナムにとって日本は有望な輸出市場で、今後の可能性が期待できるアラブ首長国連邦やエジプト、ドイツ、ベルギーといった国々よりも高い。

日本からのナマズ輸入が急増したことに、ベトナムの水産物輸出業者は注目している。

これまで日本の消費者は養殖を好まず天然物を好んでいたからだ。ベトナムのナマズは現在、日本という難しい市場の消費嗜好を徐々につかみ始めている。

■二国間FTAの優遇税制が輸出の追い風

ベトナム・日本経済連携協定（VJEP）は2008年12月25日に締結され、2009年10月1日に発効した。これはベトナムにとって初の二国間自由貿易協定（FTA）で、この協定で両国は、日本－ASEAN間よりも有利な待遇税制を盛り込んだ。

共同声明では協定発効後10年間、ベトナムは日本からの輸入額の約87.66%、日本はベトナムからの輸入額の約94.53%を無税にすることを約束した。この時点では、日本向けナマズ輸出はほとんど話題にすらなっていなかった。

2019年4月以降、日本のEPAごとの税関表を見ると、タイ、メキシコ、チリ、フィリピンから日本市場への生魚のフィレ、冷凍魚（ナマズを含む）の輸入は関税ゼロ、ASEAN諸国からは3.5%、CPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）諸国からは関税ゼロが適用されている。

ベトナムの主力輸出品である冷凍フィレナマズの日本市場への輸出は無税となっている。日越間及び日本－ASEAN間、2つのFTAにより、ベトナムから日本への水産物輸出は関税

障壁が無くなった。

CPTTPで現在は3.5-10.5%だが、ナマズを含む一部水産物は協定発効後すぐに無税となっている。こうして3つのFTAの恩恵により、ベトナムの対日本なまず輸出業はかつてないほどのチャンスを得ることになった。

日本人は淡水魚の生臭さを好まず、淡水魚は養殖よりも天然物を好む習慣が依然としてあり、かつて日本は淡水魚の輸入が進まなかった。

しかし、多くのベトナムのナマズ業者が日本人の水産物嗜好を研究し、理解するようになった。そして、日本市場へのナマズ輸出が順調な状況から、今後も輸出企業は日本市場の開拓に期待が持てるとVasepは分析している。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 5月14日,P.6)

***** 社会・文化・トレンド *****

ホーチミン市のレロイ通りとウォーキングエリアを結ぶ計画

ホーチミン市計画建築局は、ウォーキングエリア・交通・駐車場の整備を目指し、国際的な企画コンサルタントである Idom 社と共同で、市の中心地内の景観と各道路の空間のイメージ案を研究し、市人民委員会に提案したと発表した。

第1段階では、オペラハウスの前の公園と後方の空間、レロイ通りとグエンフエ通りの交差点エリアを完成させ、ホーチミン像からサイゴン川に向かっての開放的な眺めと交通を確保し、ホーチミン像前の厳粛な空気を保つとしている。

第2段階では、Le Loi 通り全体の建築景観空間の設計を完成させ、公共エリア全体と地下空間、商業サービスへのアクセス・利便性を高める予定。

(Thanh Nien 5月20日,P.13)

***** 一口ニュース *****

韓国国際協力団(KOICA)は、ASEANの6か国(ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア、インドネシア、フィリピン)向けのODAを、2023年には約1億5,100万ドルと、現時点の2倍まで増やす予定と発表した。

(Thoidai.com.vn 5月21日)

為替・証券市場動向	
為替相場	キャッシュ 23,450 ドン/USD <国家銀行中心レート 23,066 ドン/USD> (5月22日 14時00分・Vietcombank)
株価指数	VN-Index 990.06 (△3.77/0.38%) VN 30 904.48 (△3.12/0.35%) (5月22日前場終値・ホーチミン市証券取引所)

***** 入札情報 *****

【施工】 Dong Nai 省 Xuan Loc 県 Nguyen Thi Minh Khai 延長道路の建設

(Dong Nai 省人民委員会承認 2019年4月26日付文書 1277/QD-UBND 号)

パッケージ名	パッケージ価格	資金源	請負業者 選択方法	請負業者 選択期間	契約 形式	契約実施 期間
施工 (道路、排水システム、 街路樹、交通信号等)	541 億 4,684 万ドン	省予算	国内公募 入札	2019年 第2四半期	総価式	350日

投資主：Xuan Loc 県人民委員会

(電子入札システム 5月3日)

***** コラム *****

葬儀をライブ配信、道徳を知らない YouTuber たち

芸術家 Anh Vu 氏の葬儀には多くの人が参列し、生前故人と親しかった人々が悲しみの表情を浮かべ、そこには音楽とお経が流れていた。

その傍ら、故人の友人として参列していた人の中に YouTuber が複数おり、マスクやサングラス、帽子を着用したまま、葬儀を録画しようと携帯電話を握っていた。

■葬儀をライブ中継するチューバー

「皆さんこんにちは。今日は、とある行事を生中継します。イイネ、シェア、コメントを忘れないでね！よろしくお願いします」。

寺の門の前に立つ若い青年が、笑顔を浮かべ、Vサインを作りながら、ケータイを使ってライブ中継している。

「たくさんの人が線香をお供えして、記念写真を撮っていますね。有名な芸術家の葬儀、ということで賑わっています」。

青年は、スマートフォンを人混みに向けると指をあててズームした。

「Livestream は、疲れるけど、楽しいよね！」と話す青年の側には、女の子が汗を拭きながら立ち、撮影ライブが自分たちのチャンネルでどう流れているかケータイの画面を見ながらチェックしている。同時に、葬儀を撮影するのに「ふさわしい」場所を探しているようだ。

「このビデオはインターネットにアップするのかい？」年老いた女性が、青年に尋ねた。

「Livestream です。2, 3時間くらい流します」、葬儀をレポートしながら青年は答えた。

「儲かるのかい？」と、老婆は顔を寄せて聞く。

「趣味みたいなもんだよ。スグに金が入るってわけじゃないし」と、別な若者が答える。

「でも、インターネットにアップするんだから、映ってる私にも、あんだ、幾らかお金を払ってくれるんかい？」と老婆は尋ねた。

「そうだね。いつか、そいつが金を払ってくれるかもね」と、アシスタントのような若者は、場当たりの返答で相手にしていないという素振りだ。

ライブ中継している青年は、そんな事には目もくれず、自分の動画に送られてくるコメントに目をやりながら、参列者の様子を撮影し続けている。

ファンたちが先を争いながら線香をあげるシーンも含め、一連の出来事は Youtube 上にライブでアップされた。葬儀が終盤に差し掛かった頃、チューバーたちは、手押し車などに上って、何とか棺をカメラに収めようとしていた。笑顔で、そして生き生きと。

■新聞記者が危惧する状況に

少し前に、コーヒーチェーンで財を成した Trung Nguyen の社長が離婚した際にも、私たちは数十人のチューバーの姿を見た。立ったり座ったりしながら、皆携帯電話をまっすぐに構えて Vu 氏と Ba 氏の様子を Livestream にアップしたり、プライベートな質問を当事者に投げかけたりしていた。

あまりに事態の収集がつかない様子を見た弁護士の Truong Trong Nghia 氏は立ち上がり、「取材陣は邪魔にならない場所へ移動してください」と指示した。彼が使った「取材陣」というのは、我々のような新聞記者ではないはずだ。インターネット社会で、YouTuber などの新しいシゴトをしている彼らのことを指していたに違いない。

3年前の Ut Bach Lan 氏の葬儀。この頃、スマートフォンはまだそれほど普及しておら

ず、ネット社会でお金を稼ぐというスタイルもまだ一般的ではなかったため、参列者はそこまで多くなかった。

彼女を埋葬する日、数千人のファンたちが雨の中列をなし、静かに寺の前に並んでいた。ある人は涙を浮かべ祈り、ある人は手にランの花を持って、サイゴンが生んだ素晴らしい芸術家との別れを惜しんでいた。

しかし、わずか数年の間に状況は全く変わってしまった。

インターネットに接続できるスマートフォンさえあれば誰でも、たったの数十万ドン支払うだけで、自らのチャンネルを開設し YouTuber になることができる。

■インスタントな時代、過去の文化が消える

報酬は再生回数に応じて支払われるので、チューバーは皆、競い合っただけインパクトのある動画をアップしようとする。その内容は、エキサイティングなもの、悲しいもの、ヘンテコなもの、心を痛めるようなもの、感動するものなど、様々だ。

再生回数が多いほど、フォロワー数が多いほど、そのチャンネルに支払われる報酬は多くなる。少しでも多くの報酬を得ようと、チューバーたちはショッピングに行ったり、洞窟やサイゴンの小路を探検したりする。そこには道徳も何も必要ない。

現在、新聞記者たちは、「ユーチューバーたちと共に、善悪、真偽が混同する世界に立ち向かわなくてはならない時代が来た」ことを懸念している。他者の不幸が、他の誰かの娯楽となってしまいう危険性が、この背景にはある。

法律には、公序良俗に関わる行為に関する規定がある。しかし、それらは限られたものだ。芸術家が自分の作品に対して権利を主張することができても、まだまだ彼らが望む規定を、公的機関が設けられていないのが実態だ。

葬儀において Livestream のアップロードをするという非常識な行為。ここから読み取れるのは、「このビデオに対する報酬が公正なものではない」という問題点だ。再生回数に応じて「報酬」が出る、と決まっているだけで、「処罰」については厳しい規定がない。

法律も公的機関も、非人道的な内容がアップされている実態に背を向けているだけだ。お金に関する執着が全てで、皆、それに流れつつある。

教育もまた、これらを生む原因なのかもしれない。

私の祖母の話では、昔の教育は人としての道徳を教えることを非常に重要視しており、特に、共同生活でのルールを大切に扱っていた。霊柩車とすれ違ったら、自転車や足を止め、帽子を取って頭を下げ、通り過ぎるのを待つ、子どもたちはそう教えられたものだ。

また、年を取った人に会ったら頭を下げて挨拶し、年下の子が困っていたら、手助けするなどだ。このような類のことは、昔のサイゴンでは当たり前に行われていたことだった。しかし、今は全く逆だ。学校も家庭も道徳を昔のように重要視していない。

「再生回数」を優先し、道徳などは踏みにじられる、薄っぺらな社会になってしまった。

(VnExpress 4月15日)